

繊維リサイクル技術研究会 『第132回情報交換会』

～繊維リサイクルの新しい形！～

繊維リサイクル率が低迷する中、再生品や仕組みにいかにか付加価値を付けるかが問われています。今回は繊維リサイクルにどのような価値を付与すれば良いかを改めて考えて見ることにいたしました。

講演1では、日本で唯一の表面材のクリエイション(CMFデザイン)を専門としたデザイン事務所を立ち上げ、色(C)・素材(M)・加工(F)、この3つの要素を総合的にデザインし、数多くの魅力的なモノづくりをされている玉井様に新しい価値創造についてお話ししていただきます。

講演2では、自社製品のデッドストックを無駄に廃棄することなく異業種や障がい者をはじめとする就労困難者や地域住民との協働によってサステナブルなプロダクト開発をされている(株)アーバンリサーチの萩原様、喜多様から新しいリサイクルの仕組みに対する考え方などについてお話ししていただきます。

参加していただき、繊維リサイクルの発展について熱く語り合っただけだと幸いです。

【期日】2019年3月1日(金) 14:00～17:00

【会場】京都工芸繊維大学60周年記念会館2F大セミナー室(京都市左京区松ヶ崎御所海道町)

【内容】予定

14:00～14:10	開会挨拶 繊維リサイクル技術研究会委員長、京都工芸繊維大学名誉教授 木村照夫
14:10～15:10	講演(1)「CMFデザイン～製品の価値はサーフェイスで決まる！」 (株)FEEL DOOD CREATION 玉井美由紀
15:30～16:30	講演(2)「異業種協働によるデッドストックのアップサイクル」 (株)アーバンリサーチ 萩原直樹、喜多泰之
16:30～17:00	報告事項と閉会挨拶 繊維リサイクル技術研究会委員長、京都工芸繊維大学名誉教授 木村照夫
17:15～19:00	名刺交換会(交流会、有料)

【共催】京都工芸繊維大学・繊維科学センター

【問合先】繊維リサイクル技術研究会委員長、京都工芸繊維大学名誉教授 木村照夫
tkimura426@gmail.com